Ｄ

避難確保計画

対象災害：土砂災害

|  |
| --- |
| この例は、児童福祉法に規定する施設（保育所等）及び学校教育法に規定する施設（幼稚園、学校）における対応を想定して作成しています。 |

本書中の点線枠囲み内に、計画作成に当たっての留意点を記載しています。

貴施設における計画作成の参考にしてください。

【施設名：○○○○】

○○年○月作成

○○年○月更新

１．計画の目的

　この計画は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第８条の２第１項に基づくものであり、「○○○（学校等の名称）」の利用者の土砂災害に関する円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

|  |
| --- |
| ・計画は事業区分ごとに作成しなければなりませんが、同一建物であって異なる事業区分の施設を一つの計画にまとめて作成できます。この場合は、施設名を併記します。 |

２．計画の適用範囲

　この計画は、「○○○（学校等の名称）」を利用及び勤務する全ての者に適用する。

３．防災体制

福岡県土砂危険度情報は、「（２）情報収集」（３ページ）を参照してください。

（１）防災体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 体制 | 判断基準 | 活動内容 | 対応要員 |
| 注意体制 | 以下のいずれかに該当する場合・大雨注意報の発表 | 気象情報収集 | 情報収集伝達要員・○○○○・○○○○ |
| 警戒体制 | 以下のいずれかに該当する場合・大雨警報（土砂災害）が発表され、福岡県土砂災害危険度情報で施設周辺が「赤（警戒）」になったとき・土砂災害の危険度上昇によって施設のある地域に高齢者等避難が発令されたとき・強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想されるとき | 気象・土砂災害危険度の情報収集 | 情報収集伝達要員・○○○○・○○○○ |
| 使用する資機材の準備 | 避難誘導要員・○○○○・○○○○ |
| 保護者への事前連絡（要検討） | 情報収集伝達要員・○○○○・○○○○ |
| 非常体制 | 以下のいずれかに該当する場合・土砂災害警戒情報が発表されたとき・大雨警報（土砂災害）が発表され、福岡県土砂災害危険度情報の予測値で、１時間後に施設周辺が「紫（非常に危険）」になり、さらに降雨が継続する見込みのとき・土砂災害の危険度上昇によって施設のある地域に避難指示が発令されたとき | 避難誘導 | 避難誘導要員・○○○○・○○○○ |

※「緊急安全確保」または、危険度分布が施設周辺地域で「黒」になったときは、ただちにがけの反対側のなるべく上階へ､身の安全を確保してください。

|  |
| --- |
| ・表中の「対応要員」欄には、担当職員等の氏名を記載します。役職名等の記載でも可。・土砂災害危険度などの情報は、「（２）情報収集」欄を参照します。 |

（２）情報収集

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関 | 種　類 | ＵＲＬ |
| 気象庁・福岡管区気象台 | 大牟田市のページ | https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area\_type=class20s&area\_code=4020200 |
| 大雨警報（土砂災害）の危険度分布 | https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/ |
| 台風情報 | http://www.jma.go.jp/jp/typh/ |
| 気象レーダー　１時間先 | https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/index.html |
| 気象レーダー　１５時間先 | https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/index.html |
| 福岡県 | 土砂災害危険度情報 | http://www.kendoseibi.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/main.html?fnm=openMapMesh |
| 大牟田市 | 防災リアルタイム情報（大牟田市防災情報ホームページ） | https://omuta-bousai.trims-cloud.net/omuta/deploy/html/index.cgi |

|  |
| --- |
| ・情報収集のためのウェブサイト（上の表）では、関係するもののみ記載してください。 |

（３）情報伝達

| 警戒レベル | 対象情報 | 主な入手先 | 伝達内容 | 情報伝達の流れ |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者 | 情報伝達先 |
| 警戒レベル１ | 早期注意情報 | インターネット（気象庁HP） | 大雨の警報級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。 | 情報収集伝達要員 | 施設職員 |
| 事前休業のお知らせ | 統括指揮者の判断を確認 | 〇〇日は、大雨が予想されていますので、施設を休業することになりました。 | 情報収集伝達要員 | 施設利用者の家族 |
| 警戒レベル２（大雨・洪水注意報、氾濫注意情報） | 職員への招集連絡 | 統括指揮者の判断を確認 | 大雨注意報が発表されましたので施設に参集してください。 | 情報収集伝達要員 | 施設職員避難支援協力者 |
| 警戒レベル３（大雨・洪水警報、氾濫警戒情報） | 高齢者等避難 | 防災リアルタイム情報（大牟田市防災情報HP） | 高齢者等避難が発令されました。 | 情報収集伝達要員 | 施設職員避難支援協力者 |
| 避難先の開設情報 | 防災リアルタイム情報（大牟田市防災情報HP） | 避難先の○○は開設されています。 | 情報収集伝達要員 | 避難誘導班 |
| 避難開始の連絡 | 避難誘導班に確認 | 〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を開始しました。 | 情報収集伝達要員 | 市役所の担当部署 |
| 警戒レベル４（土砂災害警戒情報、氾濫危険情報） | 避難指示 | 防災リアルタイム情報（大牟田市防災情報HP） | 避難指示が発令されました。 | 情報収集伝達要員 | 施設職員避難支援協力者 |
| 避難完了の連絡 | 避難誘導班に確認 | 〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を完了しました。 | 情報収集伝達要員 | 市役所の担当部署 |

※別途、利用者緊急連絡先一覧、緊急連絡網、外部機関等の緊急連絡先一覧を参照

|  |
| --- |
| ・警戒レベル・対象情報の発表にあわせて、伝達内容や情報伝達の流れを記載します。・必要に応じて、緊急連絡先や緊急連絡網を別紙として整備します。 |

（４）避難誘導

・避難先、移動距離及び避難方法

原則、○○へ立退き避難をする。ただし、避難する時間が確保できない場合は、命を守れる安全な場所へ避難をする。 重 要　施設標高○○m

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 避難先名称 | 移動距離 | 避難方法 | 避難に要する時間 | 避難開始基準 |
| 系列施設や他の同種類似施設 | Ａ会（系列グループホーム） | 1,000 m  | 徒歩、車両○台、車いす | 1時間 | 警戒レベル3高齢者等避難 |
| 指定避難所 | B小学校（校舎2階以上） | 500 m | 徒歩、車いす | 45分 | 警戒レベル3高齢者等避難 |
| 近隣の安全な場所 | ○○ビル | 200 m | 徒歩、車いす | 30分 | 警戒レベル3高齢者等避難 |
| 屋内安全確保 | 本施設2階○○室 | 50 m | エレベーター、車椅子、ストレッチャー | 15分 | 警戒レベル3高齢者等避難 |

|  |
| --- |
| ・被災状況によって避難できる箇所を複数検討しておきます。・それぞれの避難先に対し、移動距離や避難方法、避難に要する時間を決めておきます。・あわせて、避難行動をとるタイミング（避難開始基準）を決めておきます。・避難先として、まずは、近くの安全な場所への立ち退き避難を検討します。施設の建物が２階建て以上で頑丈な場合は、施設利用者の状況や、利用者全員を立ち退き避難させる時間がないなどの緊急度に応じて、施設の２階以上などの安全な場所への避難についても検討します。 |

４．資機材の整備等

　避難に必要な備蓄品などの資機材については、下表に示すとおりである。これらについては、日頃からその維持管理に努めるものとする。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分類 | 備蓄品などの資機材 | 数量 | 分類 | 備蓄品などの資機材 | 数量 |
| 情報収集・伝達例：ＰＣ、ＴＶ等 |  |  | 避難誘導例：ハンドマイク、懐中電灯等 |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 避難先例：水、食料等 |  |  | その他例：防寒着、毛布等 |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |
| --- |
| ・必要となる備蓄品などの資機材について、数量を記載します。・事業所において必要なものを検討し、災害時に備えてください。 |

５．防災研修及び訓練の実施

|  |
| --- |
| ・大雨を想定した防災研修及び訓練の実施について記載します。（対象者、実施内容、実施時期等） |

防災研修及び訓練の年間計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 避難確保計画の作成＝防災体制の確立 |  | 実施予定時期 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 避難確保計画の周知 | ○施設職員、施設利用者や施設利用者の家族、避難支援協力者に避難確保計画を共有し、周知する |  | 4月頃新規利用者はその都度 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設職員、避難支援協力者への防災教育 | ○水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認○過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承　等 |  | 5月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者、施設利用者の家族への防災教育 | ○水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認○緊急時対応等に関する保護者・家族等への説明等 |  | 5月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 情報収集、情報伝達訓練 | ○施設職員の緊急連絡網の試行○保護者・家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行　等 |  | 5月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 立退き避難訓練 | ○避難経路ごとに避難方法（車、徒歩など）を確認○避難先までの避難に要する時間の計測　等 |  | 5月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 屋内安全確保訓練 | ○避難方法の確認○避難に要する時間の計測　等 |  | 5月頃 |

|  |
| --- |
| ・事業所で実施する防災研修や訓練にあわせて、上記を参考に検討ください。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 避難訓練結果の振り返り | 〇訓練終了後に参加者全員で訓練を振り返る〇訓練計画時に決めた訓練の目的・目標について達成度を確認し、その後、個別の反省点や行動等について意見交換する |  | 6月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 市町村への避難訓練結果の報告 | 避難訓練結果の報告様式に基づき、大牟田市防災危機管理室に訓練結果を報告する |  | 6月頃 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 避難確保計画の見直し | 〇振り返りであげられた意見や問題点を踏まえて、避難確保計画を見直す |  | 7月頃 |

該当する内容を参考にして記載します。